

卒業時アンケート（2023 年度版）

岐阜協立大学 I R推進委員会

実施日 2024年3月18日 卒業式時

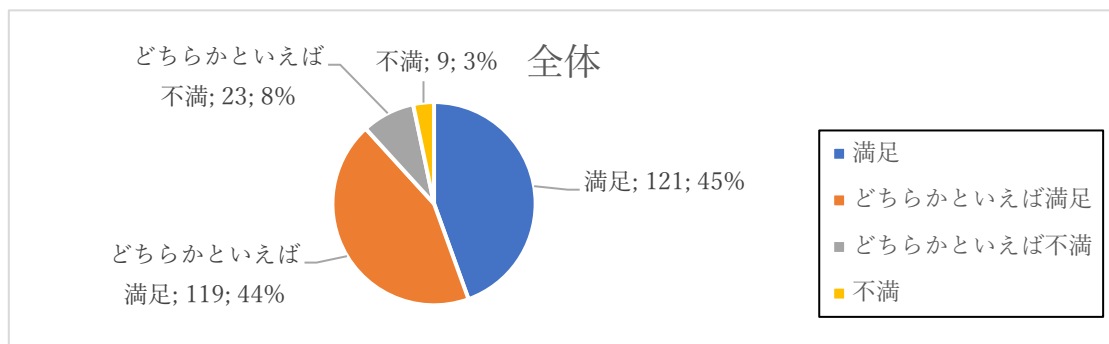
回答率 67.6%（回答者数272人／卒業者数402人）

<総評>

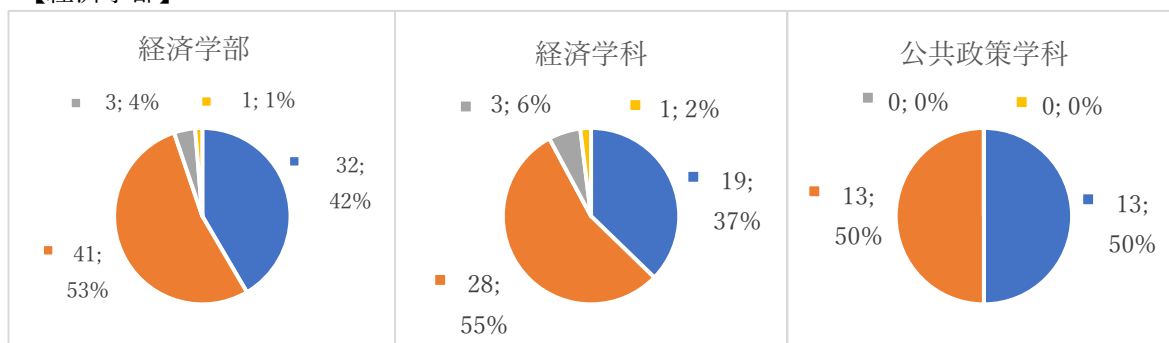
アンケート回答率が2021年度85.8%、2022年度は83.4%、2023年度67.6%と下がった。卒業式終了直後に、講堂内でMicrosoft Formsを利用したWebアンケートを行い、回答完了画面を提示した学生から退席するという方式をとったが、職員が配置されていない出口からの退席者が多数発生したため、回収率が大きく低下することとなった。2024年度実施の際には、事前に演習内で回収する等、回収率向上に向けた取り組みが必要となる。

詳細については項目毎の評価をご確認いただきたい。

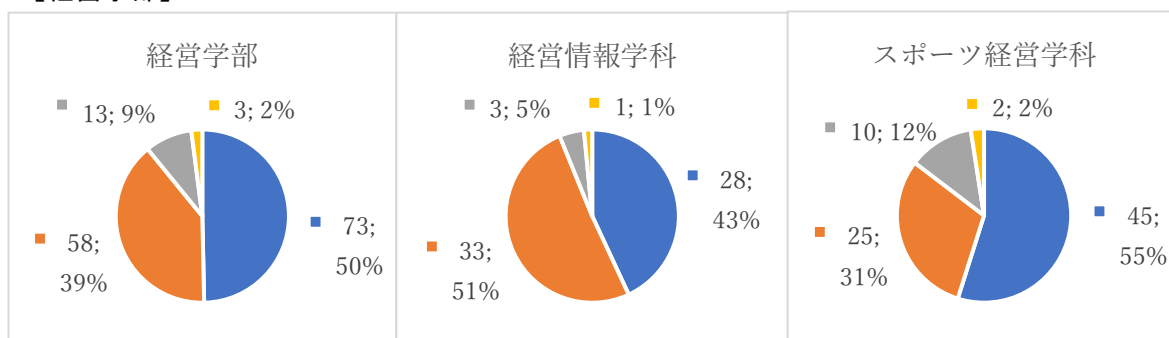
【設問 1】 本学での大学生生活全般の満足度を教えてください。



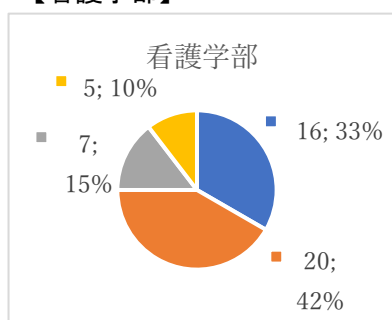
【経済学部】



【経営学部】



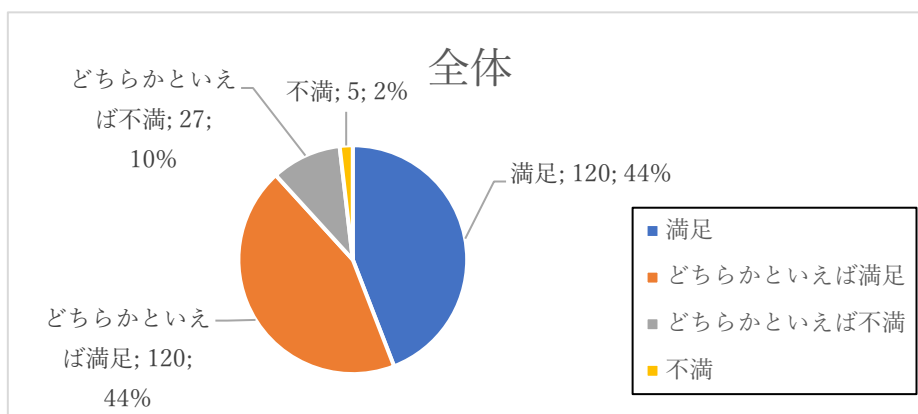
【看護学部】



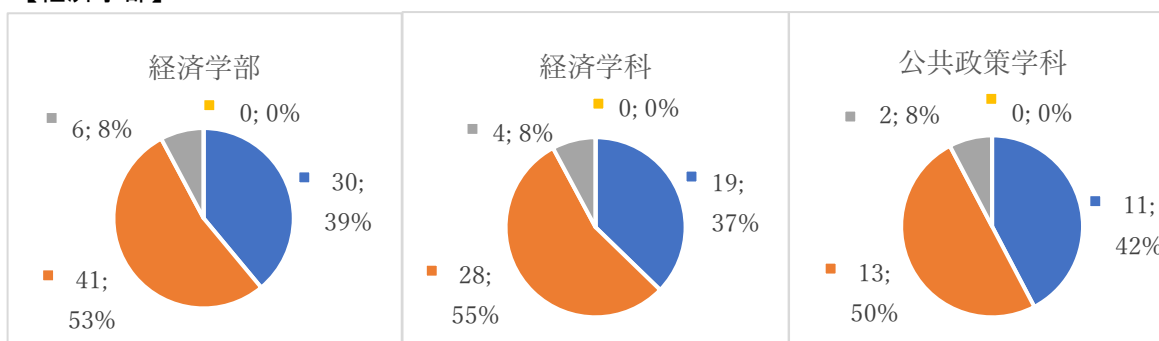
■「満足」「どちらかといえば満足」をあわせると 88.2%、「どちらかといえば不満」「不満」との回答が 11.8%となり、大学生活に不満を持つ学生の割合が 1 割強となった。

■「どちらかといえば不満」「不満」と回答した学部別の割合は、経済学部 5.2%（経済学科 7.8%、公共政策学科 0.0%）、経営学部 10.9%（経営情報学科 6.2%、スポーツ経営学科 14.6%）、看護学部 25.0%となり、看護学部生の満足度向上が急務となる。スポーツ経営学科においては、「満足」と回答した割合が 54.9%と全学科中トップとなっている反面、ネガティブな回答の割合も高く、課外活動の充実度と学生生活の満足度との相関性が示唆される。

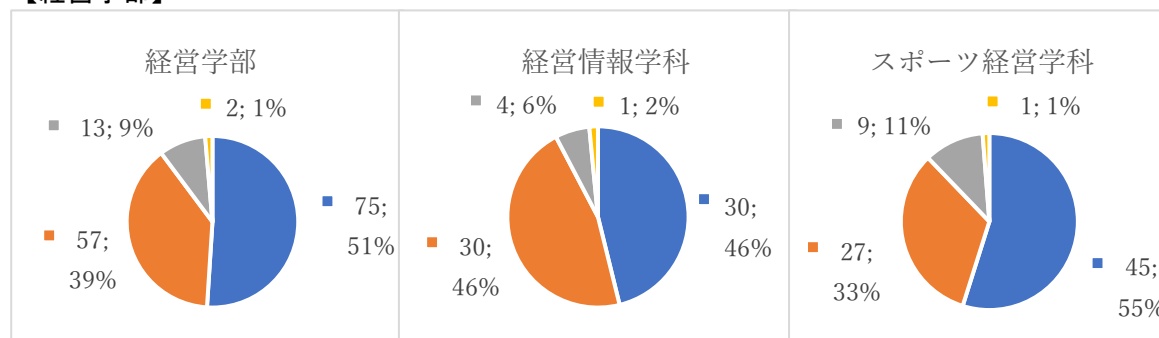
【設問 2】 本学の「教育内容」について、満足度を教えてください。



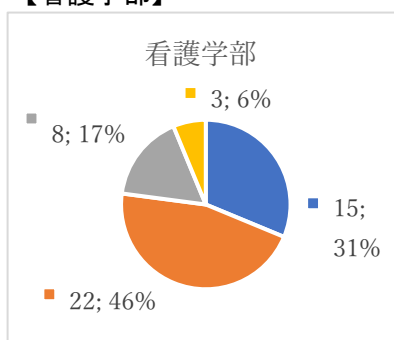
【経済学部】



【経営学部】

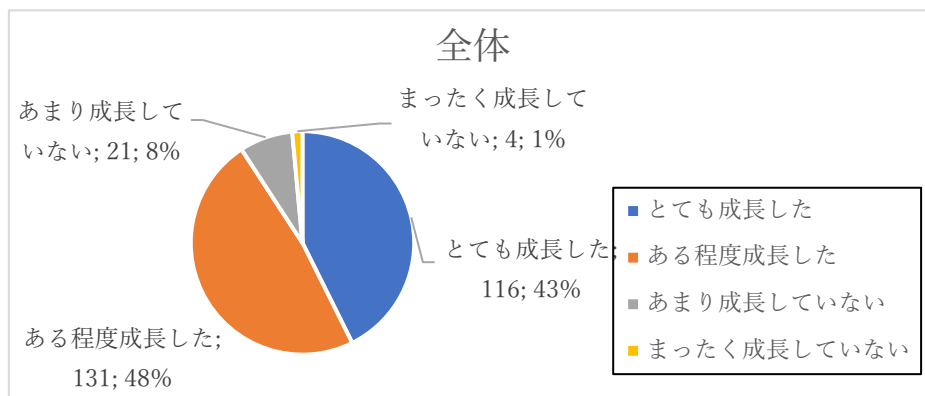


【看護学部】

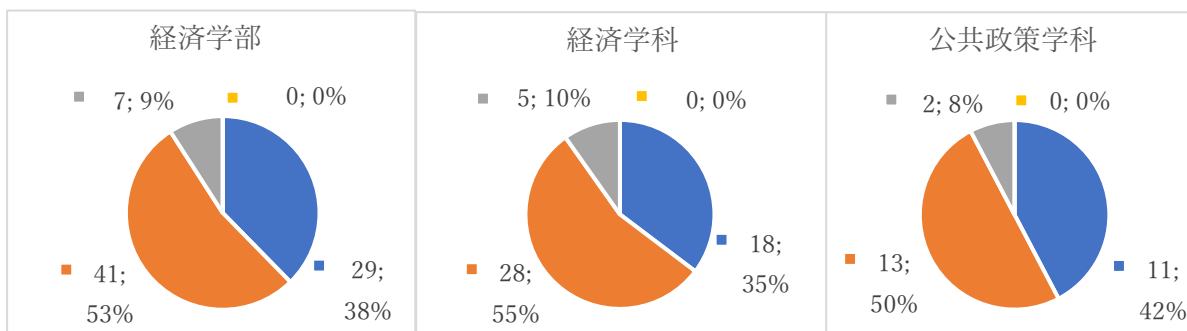


- 「満足」「どちらかといえば満足」をあわせると 88.2%、「どちらかといえば不満」「不満」との回答が 11.8%となり、教育内容の満足度と大学生活全般の満足度が一致した。
- 「どちらかといえば不満」「不満」と回答した学部別の割合は、経済学部 7.8%（経済学科 7.8%、公共政策学科 7.7%）、経営学部 10.2%（経営情報学科 7.7%、スポーツ経営学科 12.2%）、看護学部 22.9%となった。

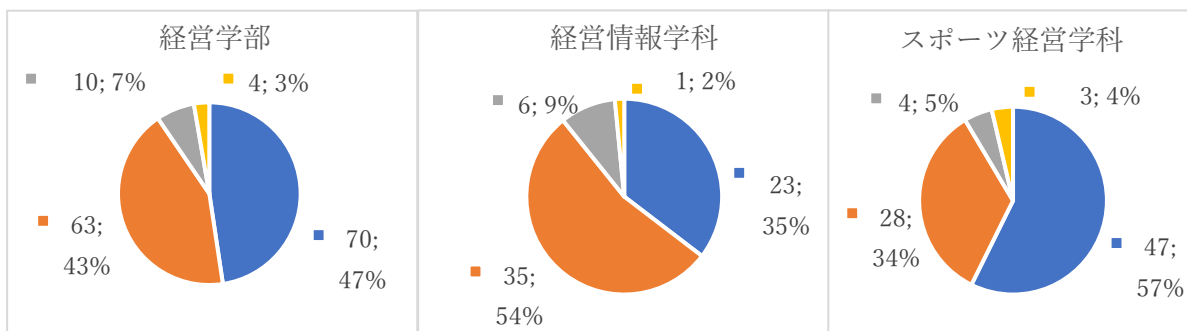
【設問 3】 本学に入学し、どの程度成長したという実感がありますか。



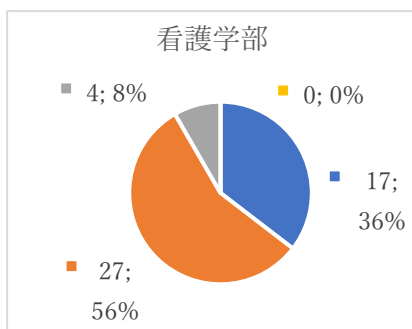
【経済学部】



【経営学部】



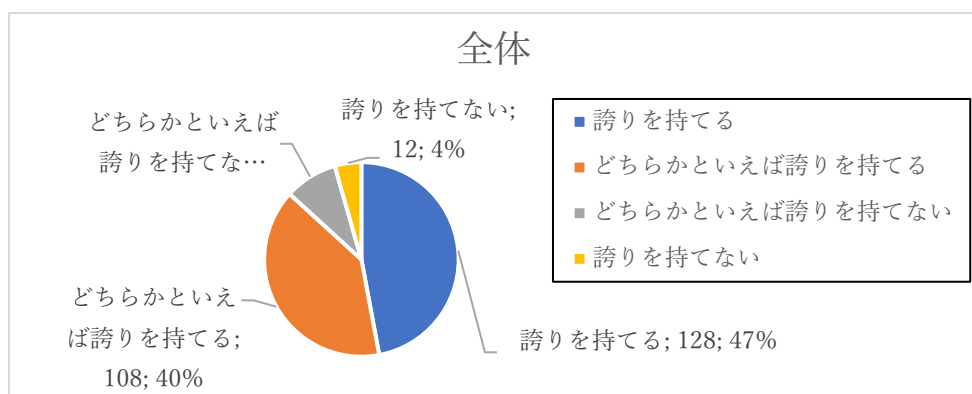
【看護学部】



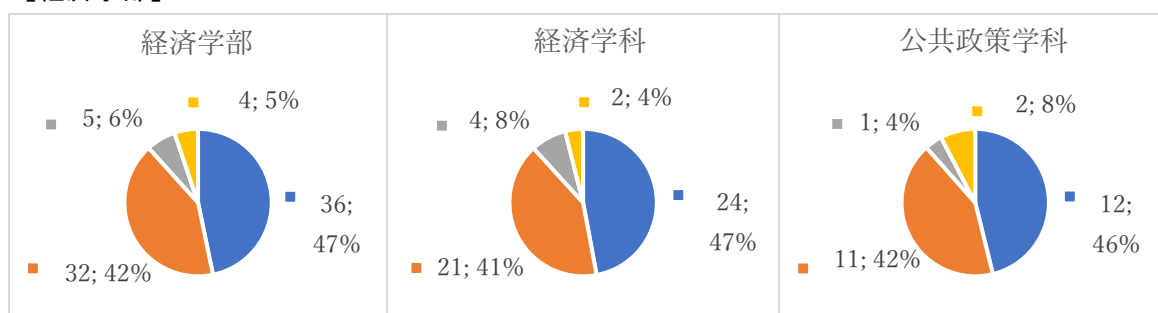
■ 「とても成長した」「ある程度成長した」をあわせると 90.8%、「あまり成長していない」「まったく成長していない」との回答が 9.2%となった。「とても成長した」の割合はスポーツ経営学科で 57.3%と高く、その要因を探る必要はあろう。

■ 「あまり成長していない」「まったく成長していない」と回答した学部別の割合は、経済学部 9.1%（経済学科 9.8%、公共政策学科 7.7%）、経営学部 9.5%（経営情報学科 10.8%、スポーツ経営学科 8.5%）、看護学部 8.3%となった。

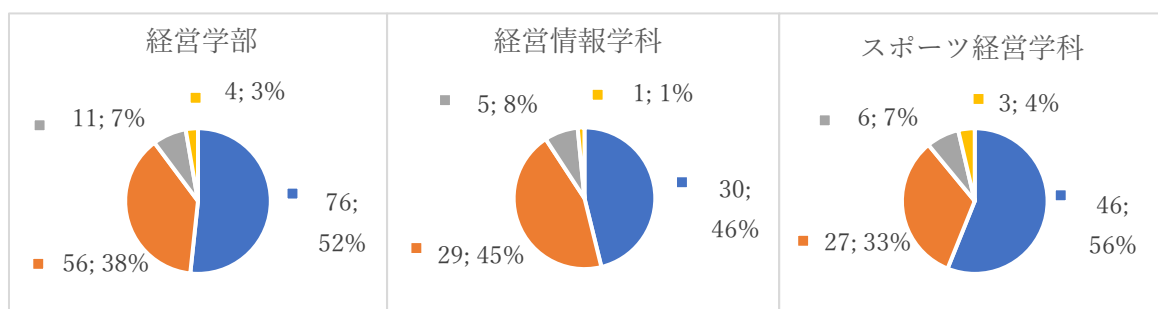
【設問 4】あなたは岐阜協立大学を卒業したことに誇りをもって社会人生活を送ることができますか。



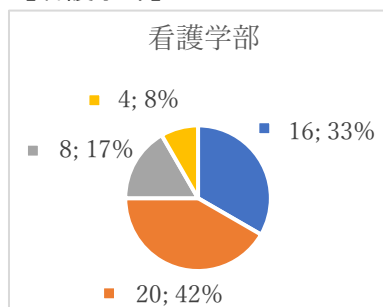
【経済学部】



【経営学部】



【看護学部】



■「誇りを持てる」、「どちらかといえば誇りを持てる」をあわせると 86.8%である。2022 年度は 84.0%であり、若干ではあるが伸びている。8 割の学生が誇りをもって卒業するということは誇れることであり、本学での学修や学生生活が評価されたといえる。

■「どちらかといえば誇りを持ってない」「誇りを持ってない」と回答した学部別の割合は、経済学部 11.6%（経済学科 11.8%、公共政策学科 11.5%）、経営学部 10.2%（経営情報学科 9.2%、

スポーツ経営学科 11.0%)、看護学部 25.0%となった。

- 今後は引き続き 90%以上を目指し、学修支援体制の強化、学生生活の充実をはかっていく必要がある。学生の満足度を上げることが顧客の創出（学生募集の成果）につながると考えられる。